



会報

WEEKLY REPORT

世界に希望を生み出そう

2023-24 R.I.会長

ゴードン.R. マッキナリー

第2500地区第6分区帯広北ロータリークラブ

会長/石岡 幸雄

副会長/萩原 敬一郎

幹事/南出 雅樹

[四つのテスト]1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第3095回 例会報告

2023.11.17

●例会日/金曜日 (12:30~13:30)

●例会場/ホテル日航ノースランド帯広

●事務局/帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F

TEL 0155-25-7347

■開会宣言 高田 義久 副SAA

■点 鐘 萩原敬一郎 副会長

■ロータリーソング (奉仕の理想)

■ゲスト紹介

RI2500地区グローバル補助金チームリーダー
行木 隼人 様

■会 食

■会長挨拶 萩原敬一郎 副会長



皆さんこんにちは。

今週当ロータリーで会員2名のご家族で不幸がありました。改めてご冥福をお祈りします。私は当年度会長挨拶の2回目の代理となります。1回目は7月28日の夜間例会で石岡会長はコロナでお休みでした。ホームページでその挨拶を読み返した所、素晴らしい挨拶だったと思います。丁度その頃小麦の収穫時期で、令和5年度産は過去最高であった令和3年を凌ぐ勢いだとお伝えしましたが、収穫を終えてみると、そこまでは達しませんでした。この時は干ばつに不作なしという諺があるように、令和5年産は史上最高であった令和3年産の農業生産額3,735億を超えるかと思っていましたが、小麦を除く作況は不良でした。今年は十勝の積算気温が過去最高を大幅に更新し、豆類の作

況はどれも例年にないような異常とも言える状況でした。小豆の開花期は例年遅くても8月20日頃までです。勝毎に季節外れの遅い時期に桜が咲いたという記事がありました。9月に小豆の咲いた花が気温低下と共に自然と落ちてしまいます。今年は気温が下がらない為、成長して枝豆の様な小豆の状態で収穫が始まりました。

今年は生産者を含めて悪い意味で記録に残る年となりましたが、私が知るかぎり初めて干ばつに不作ありという年になりました。

しかし十勝の農業が底堅い事は間違いありません。来週石岡会長がいつもの調子で例会に出席することを確信しております。有難うございました。

■マルチプル・ポールハリスフェロー表彰 +3

村上 道隆 会員

■ニコニコボックスの発表

萩原敬一郎 副会長

合田 賢二 妻の誕生日に記念品を頂きありがとうございました。

近間 政美 妻の誕生日に記念品を頂きありがとうございました。

関口 亘 誕生日に記念品を有難うございました。



齊藤 正樹 誕生日に記念品を有難うございました。

西野 秀司 誕生日に記念品を有難うございました。

長谷川道正 前は突然休んですみません。

行木 隼人 本日、卓話をさせていただきます。

■プログラム 及川 悟 委員長
【グローバル補助金でより活気のある



クラブ活動がなされる可能性】
RI2500地区グローバル補助金
チームリーダー 行木 隼人 様

財団の一つの柱であるグローバル補助金についてご理解をしていただきたいという事でお話しさせていただきます。我々はいろいろな形で寄付金を納めていますが、それがどのように使われているのか？シェアシステムによる財団の活用として、ロータリアンの寄付には「年次基金寄付」「恒久基金寄付」「その他の基金寄付」の大きく分けて3つに分かれます。我々の年会費の中から一部をロータリー財団の方に寄付していますが、それが年次基金寄付になります。それは3年後には戻ってきます。それと恒久基金寄付、これは地区財団活動資金（DDF）・地区補助金・グローバル補助金等として利益が戻ってきます。このような流れがある事を覚えておいてください。

寄付をしているからこそ得られる権利というものがあります。権利を獲得するためには毎年7月の財団セミナーに参加するとか、今年は10月に行われた補助金管理セミナーの参加が義務付けられています。これに参加しないと権利は得られません。この権利が皆さんが活動する原資になるわけです。

グローバル補助金を活用して世界で何かいいことをしましょう。グローバル補助金の活用は難しいと聞きますが、難しいわけではありません、2国間もしくはそれ以上の国とクラブでの作業となるので、手間がかかり、言い換えれば面倒臭いのです。面倒臭いで終わらせるのではなく、手間暇かけてやるからこそ達成感があるものになっていきます。グローバル補助金チームがサポートします。

グローバル補助金を活用するためにはパートナーが必要です。2500地区はタイの3330地区と3350地区と共に活動し交流しています。グローバル補助金を活用するためにはお金が必要です。それは皆さんの寄付ということです。寄付が無ければ活動ができなくなる。

ご清聴ありがとうございました。

■次週のプログラム予定

「会員卓話又はゲスト卓話」

■閉会宣言 高田 義久 副SAA

■点鐘 萩原敬一郎 副会長

例会案内

〈月曜日〉広尾RC:日高信金広尾支店 〈水曜日〉帯広RC:ホテル日航ノースランド 〈木曜日〉足寄RC:足寄銀河ホール21
帯広南RC:北海道ホテル 上士幌RC:川村福祉会館 清水RC:清水町中央公民館
〈火曜日〉芽室RC:めむろーどセミナー 音更RC:ハビオ木野 帯広西RC:北海道ホテル

■出席報告/長谷川道正 出席委員長

会員数	計算に用いる 会員数	ホームクラブ 出席数	メイクアップ	欠席	出席率
65	60	35			58%